

---

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う  
社会福祉士・精神保健福祉士養成課程への影響等

# 会員校 第2次 緊急調査 結果 (速報)

---

令和2年7月25日



日本ソーシャルワーク教育学校連盟  
JAPANESE ASSOCIATION FOR SOCIAL WORK EDUCATION

## ◆ 緊急調査の概要・対象等 ◆

本調査は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う社会福祉士及び精神保健福祉士養成教育への影響について、第1次調査（4/30回答締切）後の一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟会員校の教育の現状を把握することを目的に実施した。

## ◆ 調査方法・対象・期間・回答状況 ◆

### ■ 調査方法：

令和2年6月23日から7月3日の間、本連盟会員校に対して担当者宛メールで依頼し、インターネット上に設置した回答フォームから回答を得た

■ 調査対象：日本ソーシャルワーク教育学校連盟会員校 270校  
複数の課程を有する養成校は、課程数分の回答を依頼した

■ 調査期間：令和2年6月23日～7月3日

■ 回答校数：192校  
303課程（社会福祉士190課程／精神保健福祉士113課程）

■ 回答率：71.1%

## 【第2回 調査項目】

### ■ I 基本属性

- Q1 会員ID
- Q2 学校名
- Q3 養成校の種別（4大、短大、専門、養成施設）
- Q4 通信・通学の別
- Q5 養成課程の別（社会福祉士／精神保健福祉士）
- Q6 設置学部・学科名
- Q7 回答者氏名
- Q8 回答者役職
- Q9 回答控えを自動送信するメールアドレス

### ■ II 遠隔授業等の実施状況、学習環境

- Q10 新型コロナに対応するために遠隔授業は実施状況
- Q11 学校及び養成課程が既に行った対応（学習環境の調査、学生や教員へのサポート等）
- Q12 学校及び養成課程の現時点の課題
- Q13 遠隔授業に使用しているツール

### ■ III 相談援助実習・精神保健福祉援助実習の実施状況

- Q14 2020年度の実習／実習代替の実施方針決定状況
- Q15 実施方針決定時期
- Q16 2020年度の実習／実習代替の実施方針の内容
- Q16-1 実習の実施時期
- Q16-2 実習実施時間の個人差の有無
- Q17 実習／実習代替の実施方針を決定するにあたり根拠や参考としたもの
- Q18 新型コロナに関して実習先から実習実施をお断り（意向を含む）されたケースの有無
- Q18-1 実習実施のお断りのあった力所数
- Q19 2020年度内で、一部でも現場での実習を実施する学生の人数
- Q20 実習実施期間
- Q21 実習の実施にあたってICTによるコミュニケーションの活用
- Q22 実習代替措置の内容
- Q23 実習代替の教育プログラムの具体的な内容
- Q24 実習代替のプログラムについて、教材、プログラム、教える工夫等

### ■ IV 教員の負担・影響

- Q25 新型コロナ対応下での、教育・学内業務等を含めた業務負担量の増減
- Q26 新型コロナ対応下での、教育・学内業務等を含めた業務負担感
- Q27 現在の勤務場所（学内入構禁止など）の状況
- Q28 新型コロナ対応及び在宅勤務における時間外・深夜・休日勤務の増減
- Q29 新型コロナの感染拡大を防止しつつ教育の充実を進めるための課題

## ■ I . 回答した課程の基本属性等

Q1-1：所属ブロックは、北海道5.0%、東北6.6%、関東甲信越33.3%、東海北陸12.5%、近畿18.5%、中国・四国12.2%、九州11.9%であった。

Q1\_1 所属ブロック (n=303)



ブロック	課程数	%
北海道	15	5.0
東北	20	6.6
関東甲信越	101	33.3
東海北陸	38	12.5
近畿	56	18.5
中国・四国	37	12.2
九州	36	11.9
合計	303	100.0

Q3：養成校の種別は、4年制大学が81.5%、短期大学2.3%、専門学校5%、一般養成施設9.2%、短期養成施設が2%であった。

Q3 養成校の種別 (n=303)



学校種別	度数	%
4年制大学	247	81.5
短期大学	7	2.3
専門学校	15	5.0
一般養成施設	28	9.2
短期養成施設	6	2.0
合計	303	100.0

Q4：通信・通学の別は、通学課程が84.8%、通信課程が15.2%であった

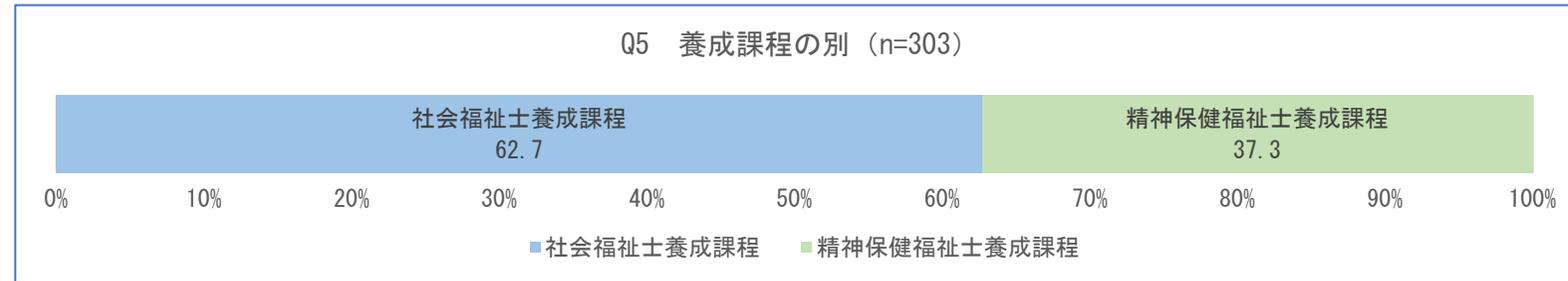
Q4 通信・通学の別 (n=303)



通信・通学	度数	%
通学課程	257	84.8
通信課程	46	15.2
合計	303	100.0

## ■ I . 回答した課程の基本属性等

Q5 養成課程の別（社会福祉士／精神保健福祉士）は、社会福祉士養成課程が62.7%、精神保健福祉士養成課程が37.3%であった。

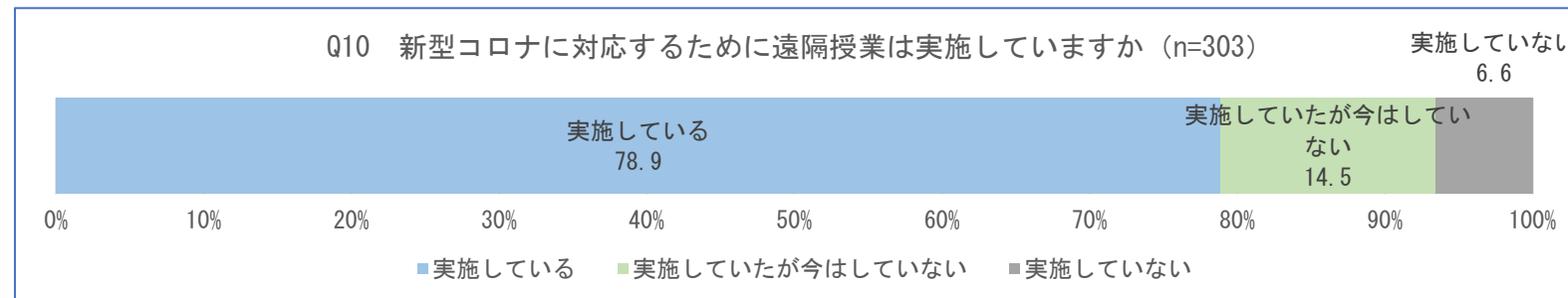


種別	度数	%
社会福祉士	190	62.7
精神保健福祉士	113	37.3
合計	303	100.0

## ■ II 遠隔授業等の実施状況、学習環境

Q10 新型コロナに対応するために遠隔授業は実施

「実施している」が78.9%、「実施していたが、今はしていない」が14.5%、「実施していない」が6.6%であった。

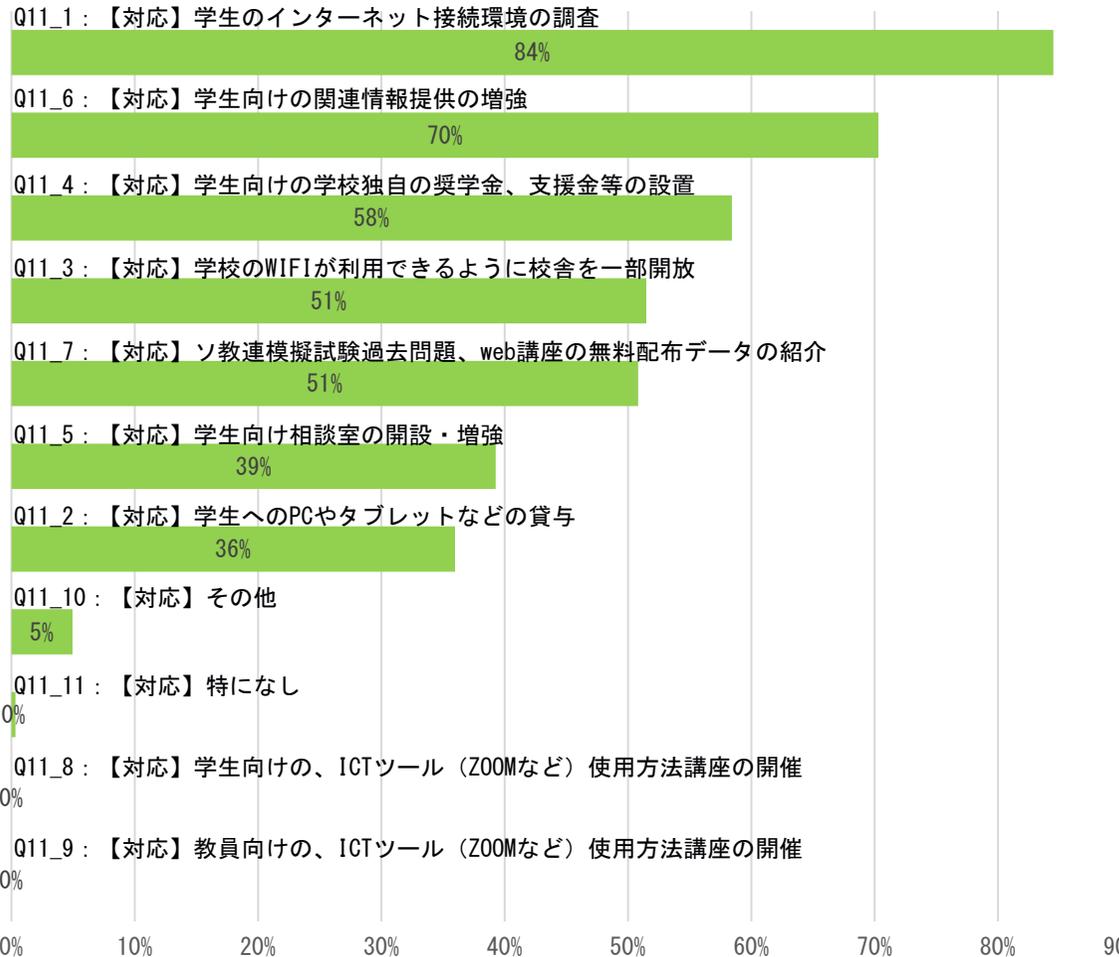


種別	度数	%
実施している	239	78.9
実施していたが今はしていない	44	14.5
実施していない	20	6.6
合計	303	100.0

## ■ II 遠隔授業等の実施状況、学習環境

Q11 学校及び養成課程が既に行った対応（学習環境の調査、学生や教員へのサポート等）にほとんどすべて（99.7%）の課程が既に何らかの対応を行っていた。7割以上の課程で行われているのが「学生のインターネット接続環境の調査」84%、「学生向けの関連情報提供の増強」70%であった。

Q11 学校及び養成課程が既に行った対応（学習環境の調査、学生や教員へのサポート等）  
(MA n=303)



	該当	該当%	非該当	非該当%	計	%
Q11_1	256	84%	47	16%	303	100%
Q11_6	213	70%	90	30%	303	100%
Q11_4	177	58%	126	42%	303	100%
Q11_3	156	51%	147	49%	303	100%
Q11_7	154	51%	149	49%	303	100%
Q11_5	119	39%	184	61%	303	100%
Q11_2	109	36%	194	64%	303	100%
Q11_10	15	5%	288	95%	303	100%
Q11_11	1	0%	302	100%	303	100%
Q11_8	0	0%	303	100%	303	100%
Q11_9	0	0%	303	100%	303	100%

# 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う社会福祉士・精神保健福祉士養成課程への影響等第2次緊急調査（速報）

■ II-Q12 学校及び養成課程の現時点の課題については、292課程（96.4%）が何らかの課題を認識している。「実習/実習代替の実施方針の検討」67%、「遠隔授業準備（教員）の負担」58%、「実習の代替方法の検討」54%、「学生の精神的負担の緩和」54%、「学生の理解度の把握」50%、「授業の日程変更の調整」49%、「教員のオンライン授業技術の向上」48%、「演習科目をオンラインで行う方法の検討」46%ほかと続いた。

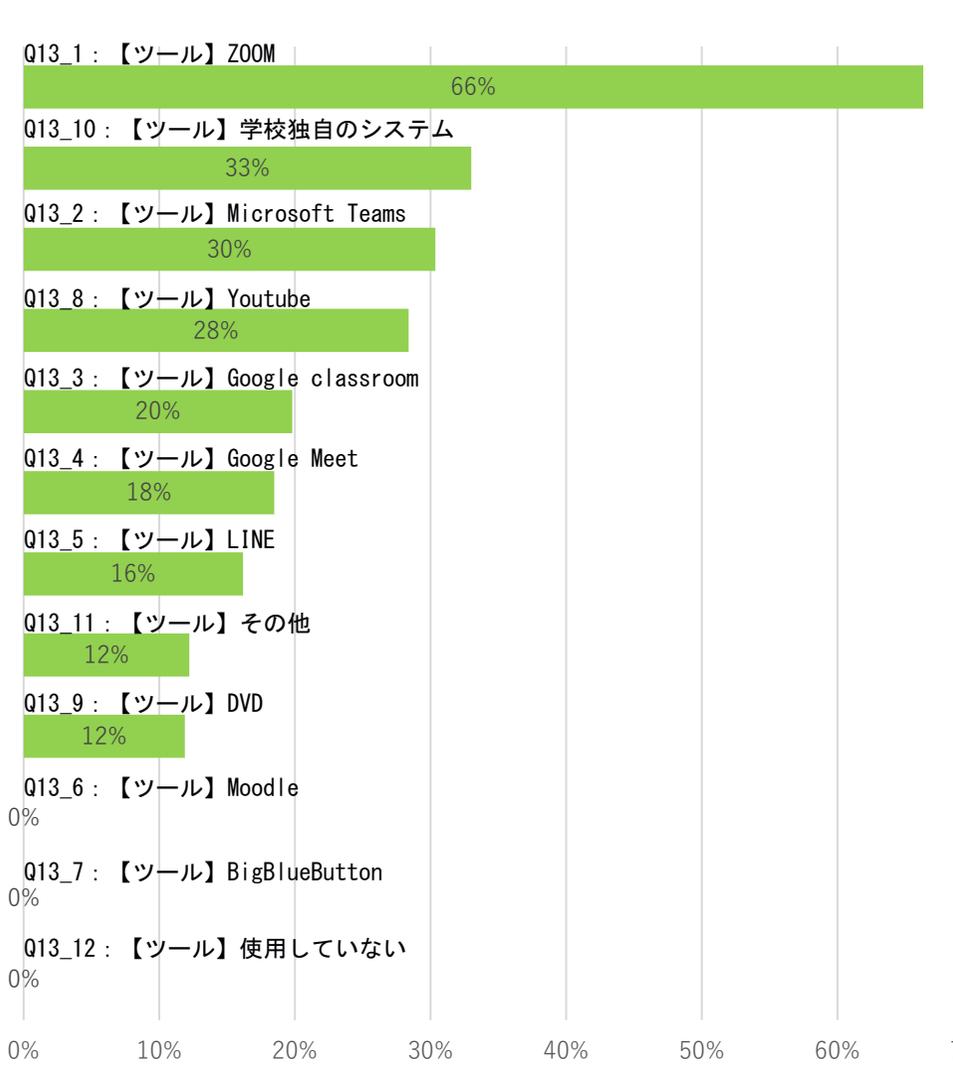
Q12 学校及び養成課程の現時点の課題（MA n=303）



	該当	該当%	非該当	非該当%	計	%計
Q12_1	204	67%	99	33%	303	100%
Q12_14	175	58%	128	42%	303	100%
Q12_2	165	54%	138	46%	303	100%
Q12_11	164	54%	139	46%	303	100%
Q12_9	151	50%	152	50%	303	100%
Q12_6	148	49%	155	51%	303	100%
Q12_4	145	48%	158	52%	303	100%
Q12_3	139	46%	164	54%	303	100%
Q12_12	139	46%	164	54%	303	100%
Q12_16	133	44%	170	56%	303	100%
Q12_7	123	41%	180	59%	303	100%
Q12_10	101	33%	202	67%	303	100%
Q12_8	100	33%	203	67%	303	100%
Q12_15	99	33%	204	67%	303	100%
Q12_13	91	30%	212	70%	303	100%
Q12_5	75	25%	228	75%	303	100%
Q12_18	12	4%	291	96%	303	100%
Q12_17	10	3%	293	97%	303	100%

■ II-Q13 遠隔授業に使用しているツールは、284課程（93.7%）が遠隔授業に使用しているツールがあると回答があった。そのうち、「Zoom」が7割弱（66%）と最も多く、続いて「学校独自のシステム」33%、「MicrosoftTeams」30%、「YouTube」28%と続く。「Googleclassroom」20%、「GoogleMeet」18%、「LINE」16%、「その他」12%、「DVD」12%であった。

Q13 遠隔授業に使用しているツール (MA n=303)



	該当	該当%	非該当	非該当%	計	%計
Q13_1	201	66%	102	34%	303	100%
Q13_10	100	33%	203	67%	303	100%
Q13_2	92	30%	211	70%	303	100%
Q13_8	86	28%	217	72%	303	100%
Q13_3	60	20%	243	80%	303	100%
Q13_4	56	18%	247	82%	303	100%
Q13_5	49	16%	254	84%	303	100%
Q13_11	37	12%	266	88%	303	100%
Q13_9	36	12%	267	88%	303	100%
Q13_6	0	0%	303	100%	303	100%
Q13_7	0	0%	303	100%	303	100%
Q13_12	0	0%	303	100%	303	100%

### ■ Ⅲ 相談援助実習（社会）・精神保健福祉援助実習（精神）の実施状況

Q14 2020年度の実習／実習代替の実施方針決定状況については、「決まっている」が78.2%、「決まっていない」が20.1%、「履修学生はいない」が1.7%であった。」

Q14 2020年度の実習／実習代替の実施方針決定状況（n=303）



	度数	%
決まっている	237	78.2
決まっていない	61	20.1
履修学生はいない	5	1.7
合計	303	100.0

Q15 2020年度の実習実施方針を決定した時期は、5月下旬から6月下旬までが約半数（48.5%）だった。

2019年度内が4%、4月中が上旬5.9%、中旬1%、下旬2.3%で合計9.2%、5月中が上旬5.6%、中旬5.6%、下旬10.9%で合計22.1%、6月中が上旬18.5%、中旬12.5%、下旬6.6%で合計37.6%、無回答が27.1%であった。

	度数	%
2019年度内	12	4.0
4月上旬	18	5.9
4月中旬	3	1.0
4月下旬	7	2.3
5月上旬	17	5.6
5月中旬	17	5.6
5月下旬	33	10.9
6月上旬	56	18.5
6月中旬	38	12.5
6月下旬	20	6.6
無回答	82	27.1
合計	303	100.0

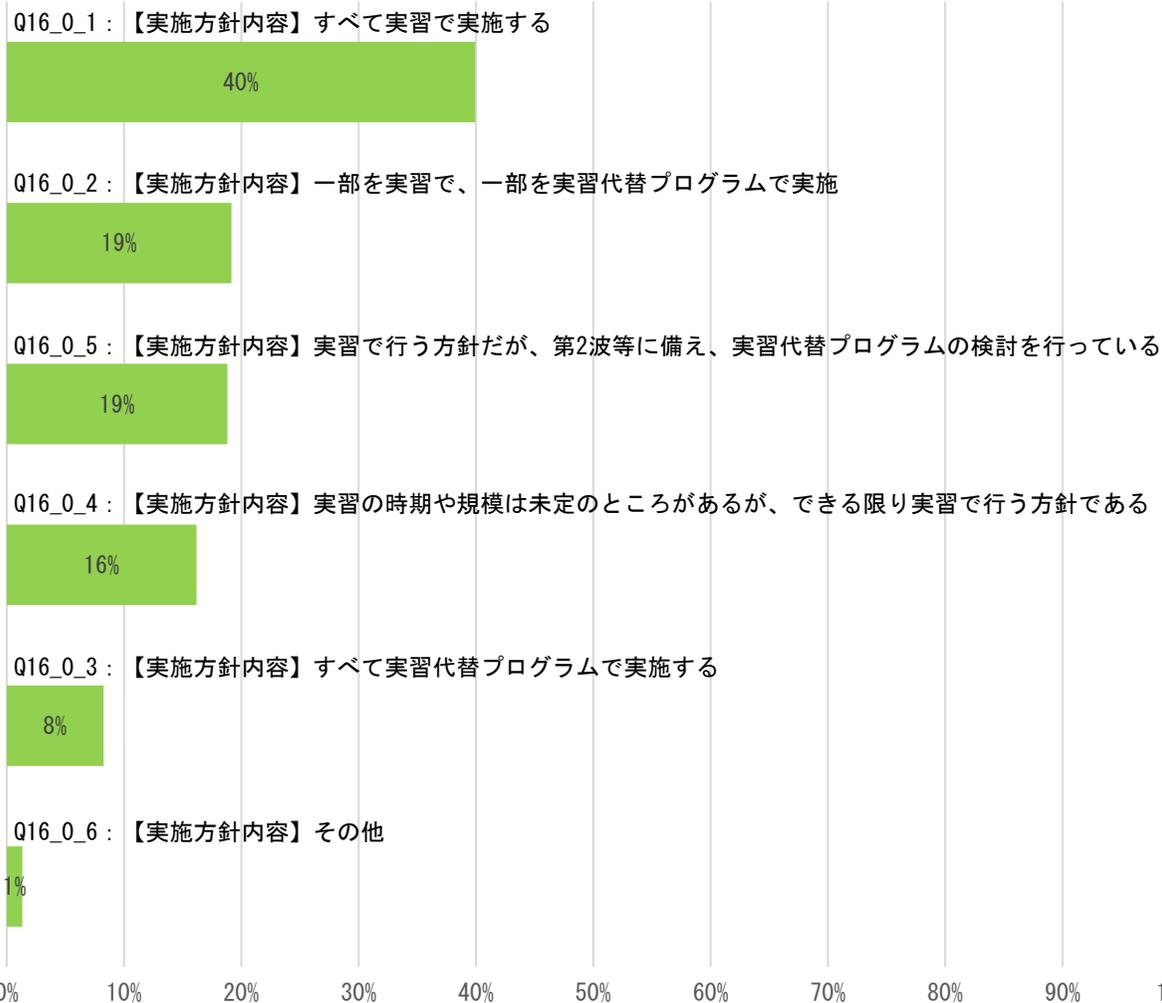
Q15 2020年度の実習実施方針を決定した時期（n=303）



### ■ Ⅲ 相談援助実習（社会）・精神保健福祉援助実習（精神）の実施状況

#### Q16-0： 2020年度の実習／実習代替の実施方針の内容

Q16 2020年度の実習／実習代替の実施方針の内容 (MA n=303)



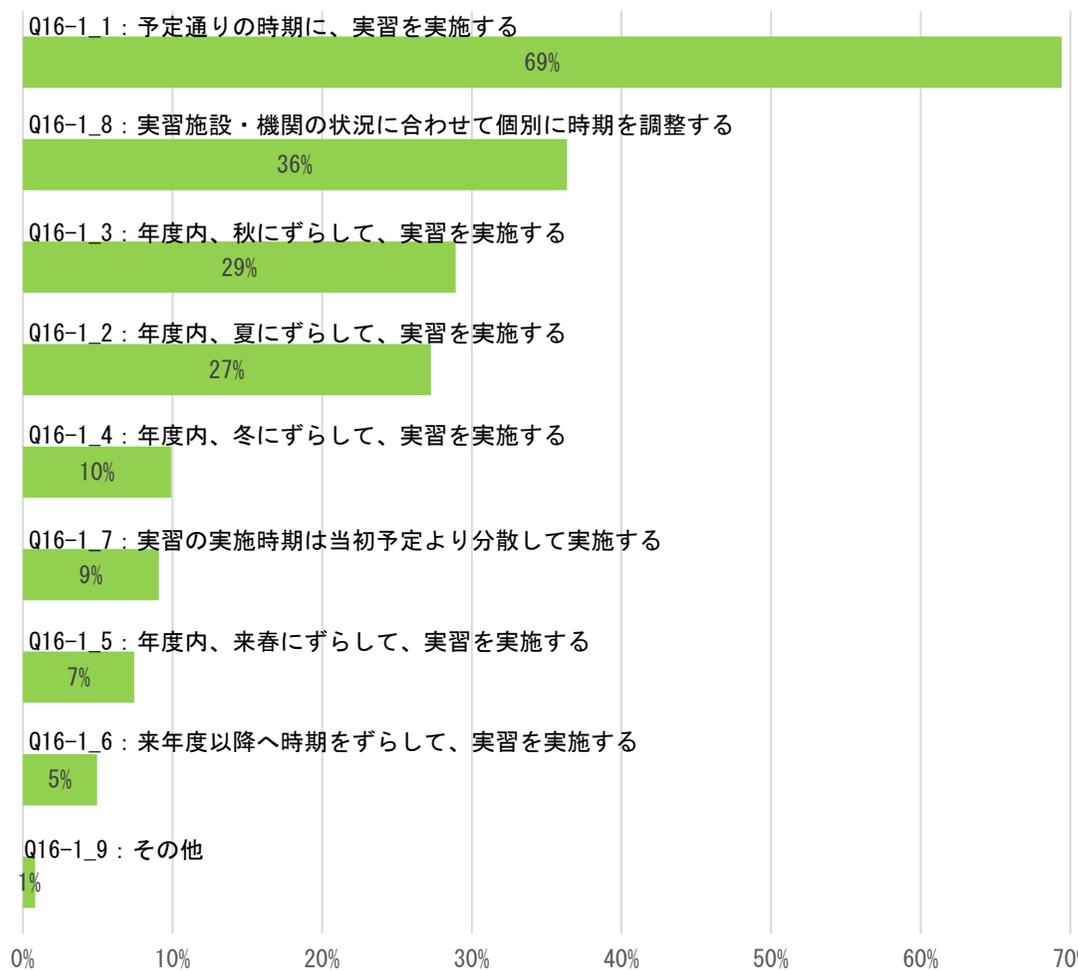
「すべて実習で実習する」が40%、「一部実習で、一部を実習代替プログラムで実施」が19%、「実習を行う方針だが、第2波等に備え、実習代替プログラムの検討を行っている」が19%、「実習の時期や規模は未定のところがあるが、できる限り実習で行う方針である」が16%、「すべて実習代替プログラムで実施する」は8%、「その他」が1%であった。

	該当	該当 %	非該当	非該当 %	計	%計
Q16_0_1	121	40%	182	60%	303	100%
Q16_0_2	58	19%	245	81%	303	100%
Q16_0_5	57	19%	246	81%	303	100%
Q16_0_4	49	16%	254	84%	303	100%
Q16_0_3	25	8%	278	92%	303	100%
Q16_0_6	4	1%	299	99%	303	100%

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う社会福祉士・精神保健福祉士養成課程への影響等第2次緊急調査（速報）

■ Ⅲ-Q16-1 2020年度の実習の実施時期：Q16-0で「すべて実習」と回答した学校のうち、2020年度の実習の実施時期について、「すべて実習」と回答した学校のうち、「予定通りの時期に、実習を実施する」が69%、「実習施設・機関の状況に合わせて個別に時期を調整する」が36%、「年度内、秋にずらして、実習を実施する」は29%、「年度内、夏にずらして、実習を実施する」が27%、「年度内、冬にずらして、実習を実施する」が10%、「実習の実施時期は当初予定より分散して実施する」が9%、「年度内、来春にずらして、実習を実施する」が7%、「来年度以降へ時期をずらして、実習を実施する」が5%、「その他」が1%であった。

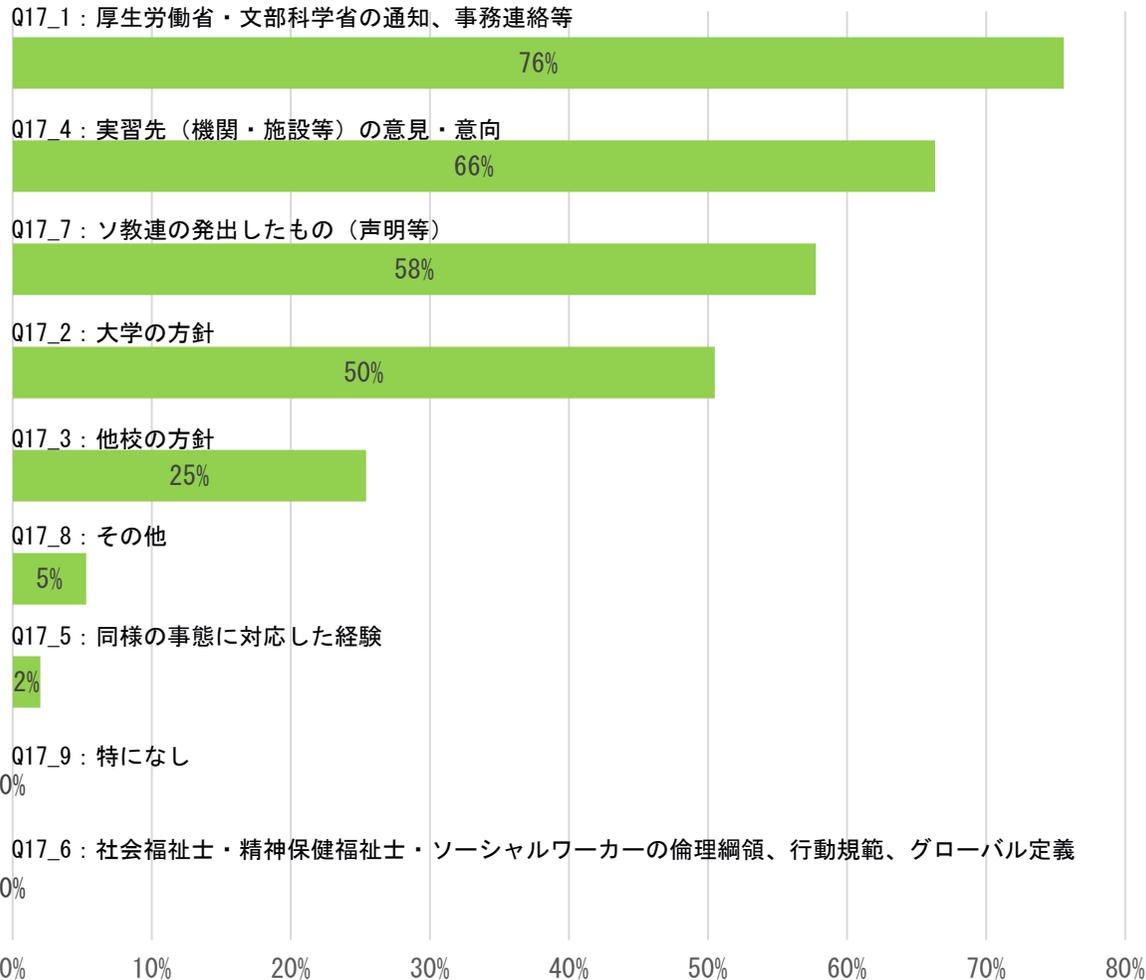
Q16-1 2020年度の実習の実施時期：Q16-0で「すべて実習」（MA n=121）



	該当	該当 %	非該当	非該当 %	計	%計
Q16-1_1	84	69%	37	31%	121	100%
Q16-1_8	44	36%	77	64%	121	100%
Q16-1_3	35	29%	86	71%	121	100%
Q16-1_2	33	27%	88	73%	121	100%
Q16-1_4	12	10%	109	90%	121	100%
Q16-1_7	11	9%	110	91%	121	100%
Q16-1_5	9	7%	112	93%	121	100%
Q16-1_6	6	5%	115	95%	121	100%
Q16-1_9	1	1%	120	99%	121	100%

■ Ⅲ-Q17 実習／実習代替の実施方針を決定するにあたり根拠や参考としたものについては、「厚生労働省・文部科学省の通知、事務連絡等」が76%、「実習先（機関・施設等）の意見・意向」が66%、「ソ教連が発出したもの（声明等）」が58%、「大学の方針」が50%、「他校の方針」が25%、「その他」が5%、「同様の事態に対応した経験」が2%であった。但し、地域の状況による差があると考えられる。

Q17 実習／実習代替の実施方針を決定するにあたり根拠や参考としたもの  
(MA n=303)

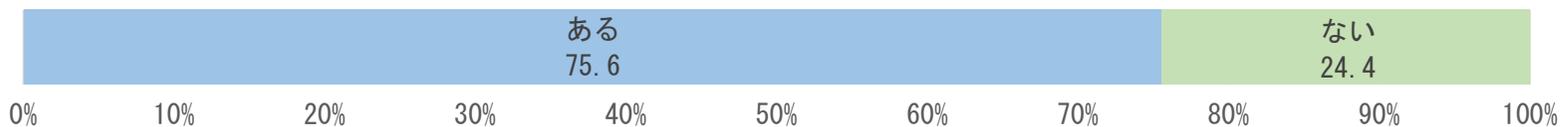


	該当	該当 %	非該当	非該当 %	計	%計
Q17_1	229	76%	74	24%	303	100%
Q17_4	201	66%	102	34%	303	100%
Q17_7	175	58%	128	42%	303	100%
Q17_2	153	50%	150	50%	303	100%
Q17_3	77	25%	226	75%	303	100%
Q17_8	16	5%	287	95%	303	100%
Q17_5	6	2%	297	98%	303	100%
Q17_6	0	0%	303	100%	303	100%
Q17_9	0	0%	303	100%	303	100%

### ■ Ⅲ 相談援助実習（社会）・精神保健福祉援助実習（精神）の実施状況

Q18 新型コロナに関して実習先から実習実施を断られた（意向を含む）については、「ある」が75.6%、「ない」が24.4%であった。

Q18 新型コロナに関して実習先から実習実施をお断り（意向を含む）されたケース（n=303）

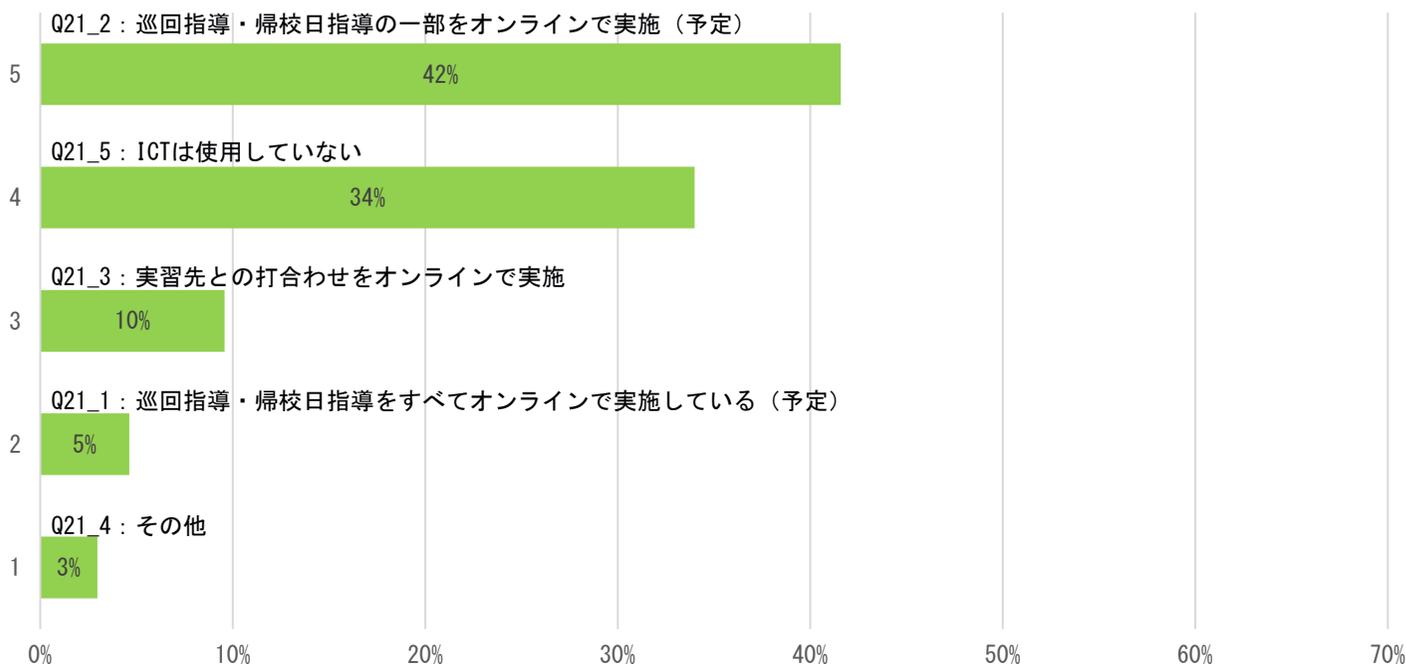


	度数	%
ある	229	75.6
ない	74	24.4
合計	303	100.0

## ■ III 相談援助実習（社会）・精神保健福祉援助実習（精神）の実施状況

Q21 実習の実施にあたってICTによるコミュニケーションの活用しているかについては、「ICTは使用していない」が34%で、6割以上が活用している。「巡回指導・帰日指導の一部をオンラインで実施（予定）」が42%、「実習先との打合わせをオンラインで実施」が10%、「巡回指導・帰日指導のすべてをオンラインで実施している（予定）」が5%、「その他」が3%であった。

Q21 実習の実施にあたってICTによるコミュニケーションの活用（MA n=303）



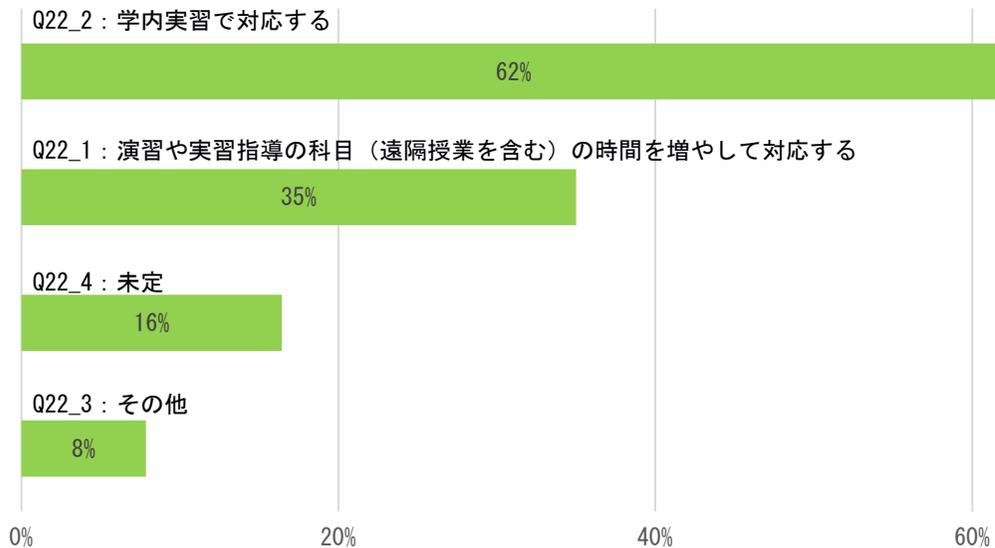
	該当	該当 %	非該当	非該当 %
Q21_2	126	42%	177	58%
Q21_5	103	34%	200	66%
Q21_3	29	10%	274	90%
Q21_1	14	5%	289	95%
Q21_4	9	3%	294	97%

## ■ Ⅲ 相談援助実習（社会）・精神保健福祉援助実習（精神）の実施状況

### Q22 実習代替措置を想定していますか

Q22 どのような代替措置を想定していますか（Q16で実習代替を行う及び予定と回答した学校）（MA n=140）

【参考値】

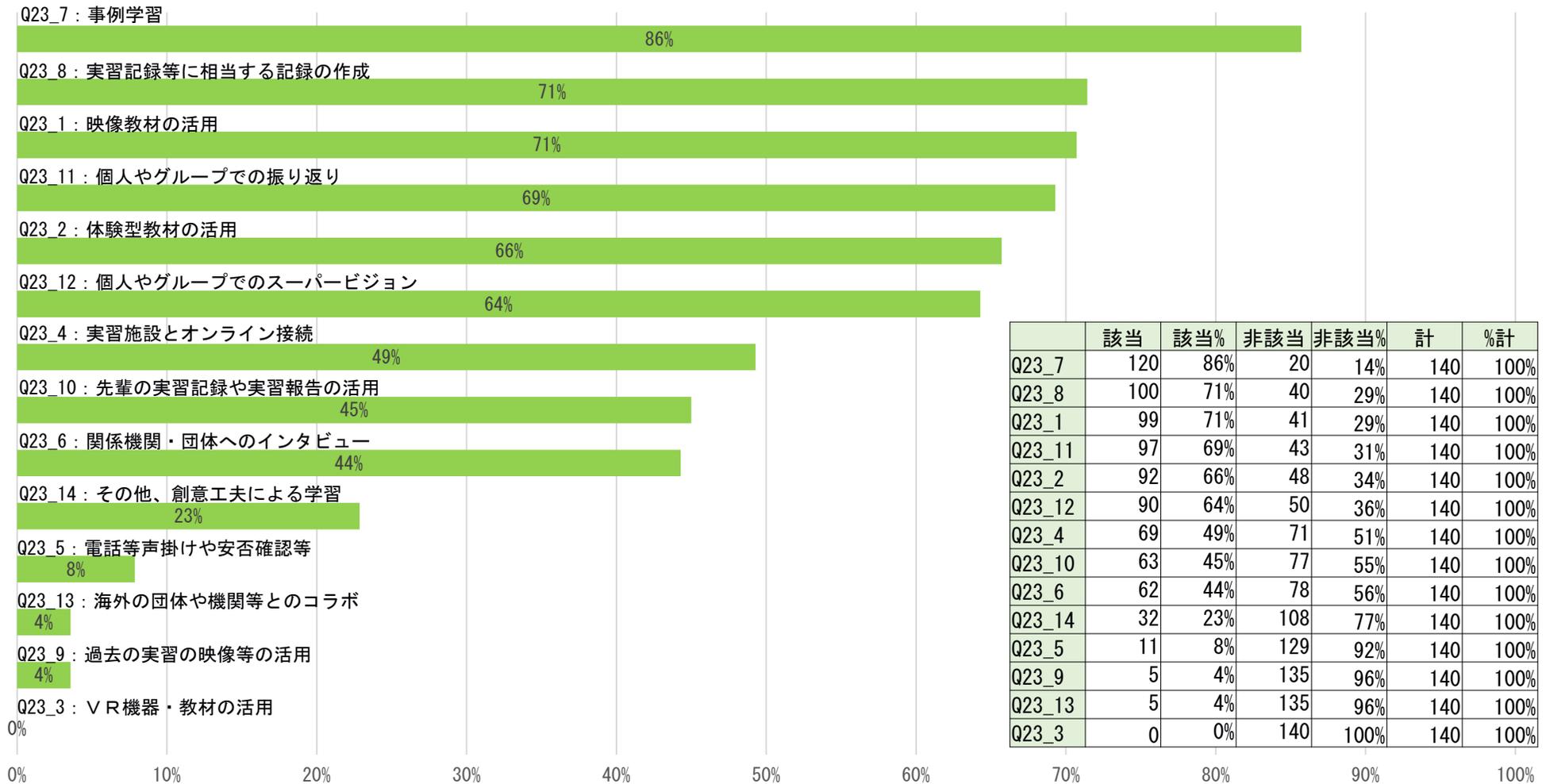


	該当	該当 %	非該当	非該当 %
Q22_2	87	62%	53	38%
Q22_1	49	35%	91	65%
Q22_4	23	16%	117	84%
Q22_3	11	8%	129	92%

実習代替措置の想定については、「学内実習で対応する」が62%、「演習や実習指導の科目（遠隔授業を含む）の時間を増やして対応する」が35%、「未定」が16%、「その他」が8%であった。

■ Ⅲ-Q23 実習代替の教育プログラムの具体的内容（予定や企画段階を含む）については、「事例学習」は86%と最も多く、「実習記録等に相当する記録の作成」が71%、「映像教材の活用」が71%、「個人やグループでの振り返り」が69%、「体験型教材の活用」が66%、「個人やグループでのスーパービジョン」が64%、「実習先とのオンライン接続」が49%、「先輩の実習記録や実習報告の活用」が45%、「関係機関・団体へのインタビュー」が44%であった。「その他、創意工夫による学習」が23%あり、各校で様々な工夫が行われていることがわかった。

Q23 実習代替の教育プログラムの具体的内容（予定や企画段階を含む）  
 (Q16で実習代替を行う及び予定と回答した学校) (MA n=140) 【参考値】



## ■ IV 教員の負担・影響

### Q25 新型コロナウイルス対応下での、教育・学内業務等を含めた業務負担量の増減

#### Q25\_1：【業務負担量】実習以外の教育（遠隔授業等）（n=303）

実習以外の教育の業務負担量は、「かなり増えた」が63.7%、「やや増えた」が31.4%ととなり、95.1%で実習以外の教育の業務量が増えたことが明らかになった。



	度数	%
かなり増えた	193	63.7
やや増えた	95	31.4
変わらない	14	4.6
やや減った	1	0.3
合計	303	100.0

#### Q25\_2：【業務負担量】実習対応・実習代替対応）（n=303）

実習対応・実習代替対応における業務負担量は、「かなり増えた」が63.7%、「やや増えた」が31.7%ととなり、95.4%で実習対応・実習代替対応により業務量が増えたことが明らかになった。



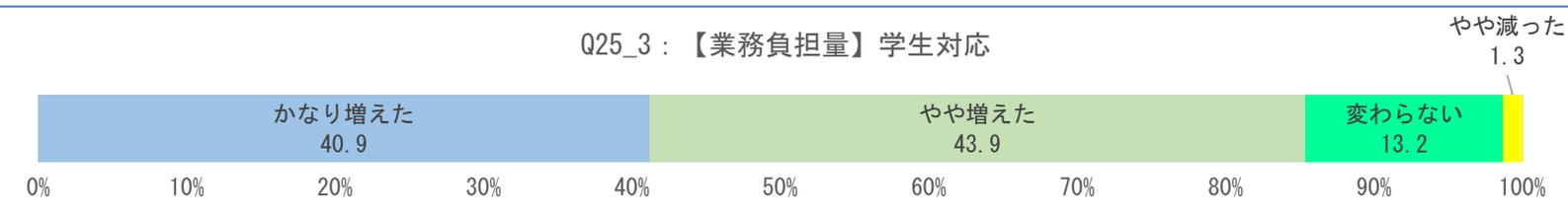
	度数	%
かなり増えた	193	63.7
やや増えた	96	31.7
変わらない	13	4.3
やや減った	1	0.3
合計	303	100.0

## ■ IV 教員の負担・影響

### Q25 新型コロナ対応下での、教育・学内業務等を含めた業務負担量の増減

#### Q25\_3：【業務負担量】学生対応（n=303）

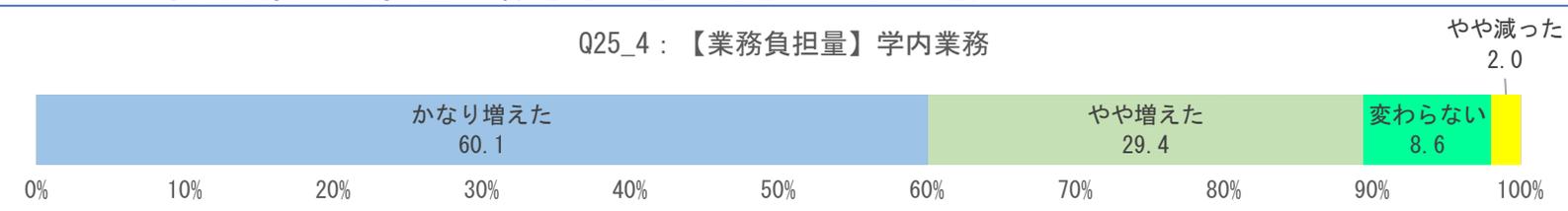
学生対応の業務負担量は、「かなり増えた」が40.9%、「やや増えた」が43.9%ととなり、84.8%が学生対応の業務量が増えたことが明らかになった。



	度数	%
かなり増えた	193	63.7
やや増えた	96	31.7
変わらない	13	4.3
やや減った	1	0.3
合計	303	100.0

#### Q25\_4：【業務負担量】学内業務（n=303）

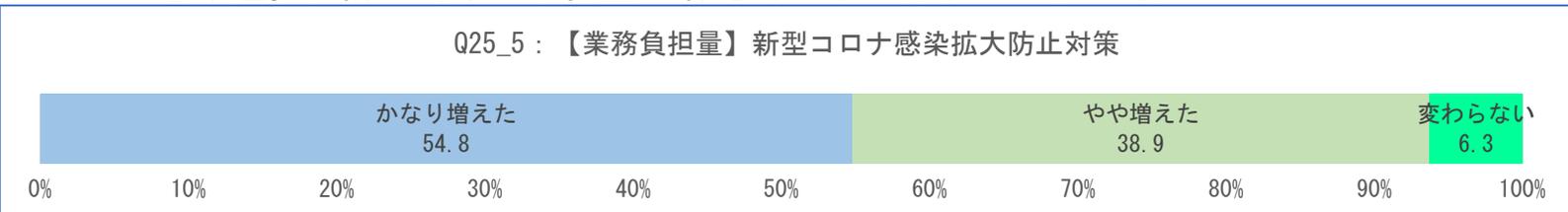
学内業務の業務負担量は、「かなり増えた」が60.9%、「やや増えた」が29.4%ととなり、89.5%が学内業務の業務量が増えたことが明らかになった。



	度数	%
かなり増えた	182	60.1
やや増えた	89	29.4
変わらない	26	8.6
やや減った	6	2.0
合計	303	100.0

#### Q25\_5：【業務負担量】新型コロナ感染拡大防止対策（n=303）

感染症拡大防止対策の業務負担量は、「かなり増えた」が54.8%、「やや増えた」が38.9%ととなり、93.7%が感染症拡大防止対策の業務量が増えたことが明らかになった。



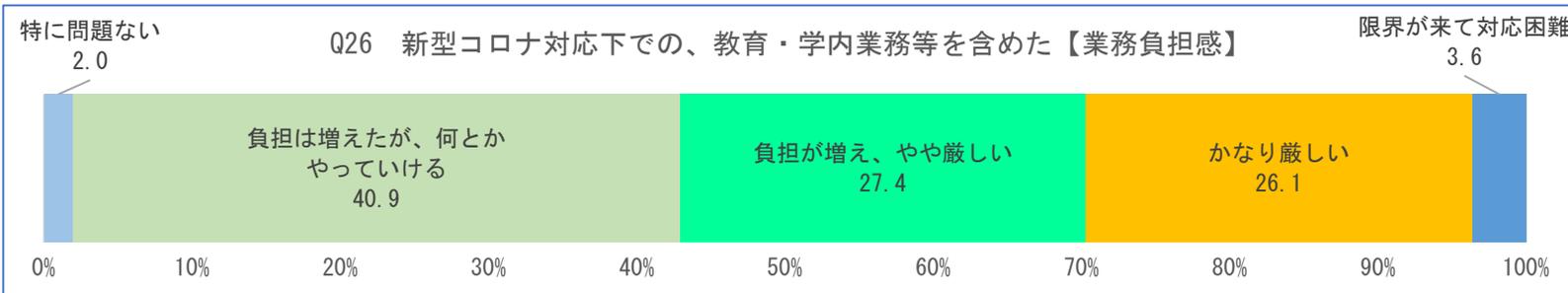
	度数	%
かなり増えた	193	63.7
やや増えた	95	31.4
変わらない	14	4.6
やや減った	1	0.3
合計	303	100.0

## ■ IV 教員の負担・影響

### Q26 新型コロナ対応下での、教育・学内業務等を含めた、現在の業務負担感

業務の負担感については、「負担が増え、やや厳しい」が27.4%、「かなり厳しい」が26.1%、「限界が来て対応が困難」が3.6%ととなり、57.1%が厳しい状況にあることが明らかになった。

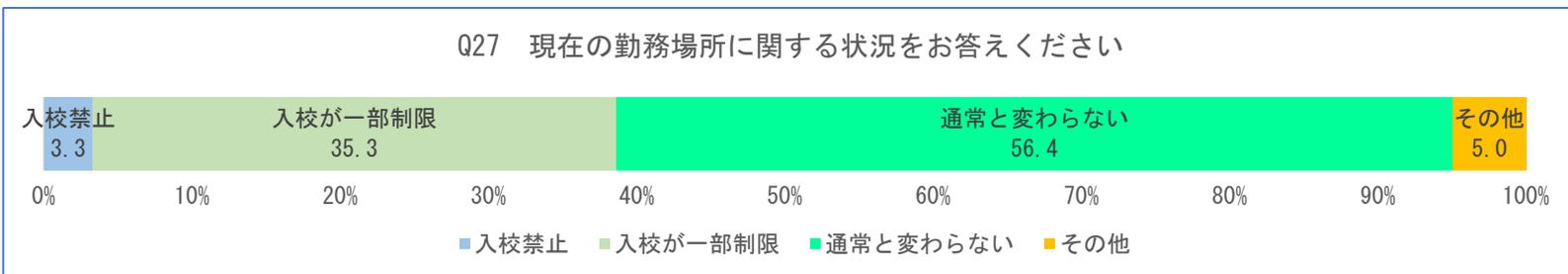
特に「限界が来て対応が困難」の11課程については、詳細の状況の把握と支援が必要と考えられる。



	度数	%
特になし	6	2.0
負担は増えたが、何とかやっつけられる	124	40.9
負担が増え、やや厳しい	83	27.4
かなり厳しい	79	26.1
限界が来て対応困難	11	3.6
合計	303	100.0

### Q27 現在の勤務場所に関する状況をお答えください

勤務場所の状況については、「通常と変わらない」が56.4%と最も多く、「入校が一部制限」が35.3%、「入校禁止」が3.3%、「その他」が5%となった。地域差が大きい項目と考えられる。



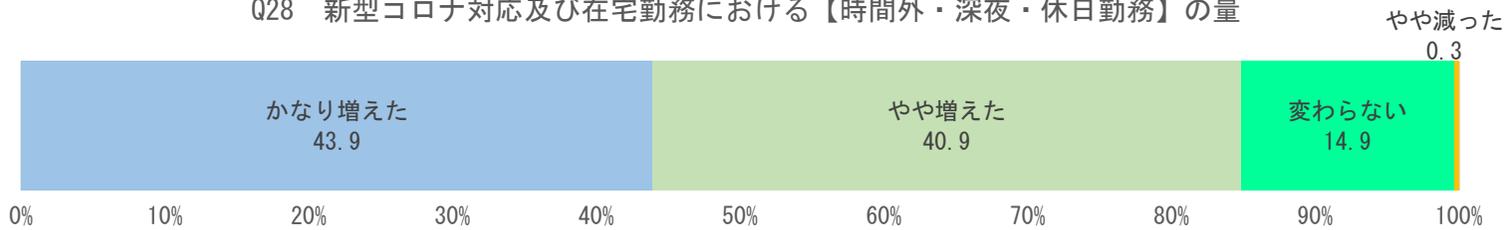
	度数	%
入校禁止	10	3.3
入校が一部制限	107	35.3
通常と変わらない	171	56.4
その他	15	5.0
合計	303	100.0

## ■ IV 教員の負担・影響

### Q28 新型コロナ対応及び在宅勤務における【時間外・深夜・休日勤務】の量

時間外・深夜・休日勤務の量については、「かなり増えた」が43.9%、「やや増えた」が40.9%と合わせて8割を超え、教職員への負担が時間外等へ浸食している状況があることがわかった。

Q28 新型コロナ対応及び在宅勤務における【時間外・深夜・休日勤務】の量



	度数	%
かなり増えた	133	43.9
やや増えた	124	40.9
変わらない	45	14.9
やや減った	1	0.3
合計	303	100.0